

D R U G

I N F O R M A T I O N

2 0 0 1 N o . 9

岐阜大学医学部附属病院薬剤部
医薬品情報管理室（内線 2 8 3 4 ）

平成 1 3 年 6 月 8 日発行

目 次

- 1 . 医薬品の採用・採用中止について 1
 - 平成 13 年 6 月 7 日の薬事委員会結果 -
- 2 . 院内処方医薬品について 3
- 3 . 院外処方医薬品について 7

Drug Information は医学部ホームページの下記アドレスにて提供しています。

<http://www1.med.gifu-u.ac.jp/drug-info/index.htm>

医薬品の採用・採用中止について

院内新規試用医薬品

医薬品名(成分名)	規格・単位	薬品分類	会社名
アコレート錠(ザフィレルカスト)	40mg／錠	気管支喘息治療剤	アストラゼネカ
ジルテック錠(塩酸セチリジン)	10mg／錠	アレルギー性疾患治療剤	住友
プログラフカプセル(タクロリムス水和物)	0.5mg／Cp	免疫抑制剤	藤沢
スベニールディスポ(ヒアルロン酸ナトリウム)	2.5mL／本	関節機能改善剤	中外
シベノール注(コハク酸シベンゾリン)	70mg／5mL／A	不整脈治療剤	藤沢
ズファジラン注(塩酸イソクスプリン)	5mg／A	子宮鎮痙剤	第一
デノシン注(ガンシクロビル)	500mg／V	抗サイトメガロウイルス化学療法剤	田辺
ハロマンس注(デカン酸ハロペリドール)	100mg／1mL／A	持効性抗精神病剤	大日本

院内採用医薬品

医薬品名(成分名)	規格・単位	薬品分類	会社名
アリミデックス錠(アナストロゾール)	1mg／錠	閉経後乳癌治療剤	アストラゼネカ
アレグラ錠(塩酸フェキソフェナジン)	60mg／錠	アレルギー性疾患治療剤	アベンティスファーマ
コレバイン錠(コレステミド)	500mg／錠	高コレステロール血症治療剤	山之内
ジスロマック錠(アジスロマイシン水和物)	250mg／錠	マクロライド系抗生物質製剤	ファイザー
ジスロマック細粒小児用(アジスロマイシン水和物)	100mg／g	マクロライド系抗生物質製剤	ファイザー
タミフルカプセル(リン酸オセルタミビル)	75mg／Cp	抗インフルエンザウイルス剤	ロシュ
ディオバン錠(バルサルタン)	80mg／錠	アンジオテンシンⅡ受容体阻害剤	ノバルティスファーマ
フリバス錠(ナフトピジル)	50mg／錠	排尿障害改善剤	旭化成
プロトピック軟膏(タクロリムス水和物)	5g／本	アトピー性皮膚炎治療剤	藤沢
リレンザ(ザナミビル水和物)	5mg／ブリストア	抗インフルエンザウイルス剤	グラクソスミスクライン
イミグラン注(コハク酸スマトリプタン)	3mg／1mL／A	片頭痛治療剤	グラクソスミスクライン
ゾラデックスデポ(酢酸ゴセレリン)	1.8mg／筒	子宮内膜症治療剤	キッセイ
リンデロン懸濁注(酢酸ベタメタゾン, リン酸ベタメタゾンNa)	0.5mL／A	副腎皮質ホルモン剤	塩野義

院内採用中止医薬品

医薬品名(成分名)	規格・単位	薬品分類	会社名
バイカロン錠(メフルシド)	25mg／錠	降圧利尿剤	ウェルファイド
メレックス細粒(メキサゾラム)	1mg／g	抗不安剤	三共
ルバトレン錠(塩酸モペロン)	5mg／錠	抗精神病剤	山之内
トロンビン局所用(トロンビン)	5,000 単位／V	止血剤	三共
アルブミン-Wf (人血清アルブミン)	〔25%〕 50mL／V	血漿分画製剤	ウェルファイド
M.V.I.注	5mL／V	総合ビタミン剤	エスエス
エリルS注(塩酸ファスジル水和物)	30mg／2mL／A	脳循環改善剤	旭化成
リンデロン注(リン酸ベタメタゾンナトリウム)	20mg／5mL／A	副腎皮質ホルモン剤	塩野義

在庫がなくなり次第，処方中止とします。

製剤変更医薬品

医薬品名(成分名)	規格・単位	薬品分類	会社名	変更年月
カコージンD注(塩酸ドパミン)	200mg／200mL／本 → 600mg／200mL／本	急性循環不全改善剤	日本製薬	H13.6

在庫がなくなり次第，変更とします。

院外処方医薬品(追加分)

医薬品名(成分名)	規格・単位	薬品分類	会社名
アコレート錠(ザフィレルカスト)	20mg／錠	気管支喘息治療剤	アストラゼネカ
アレロック錠(塩酸オロパタジン)	5mg／錠	アレルギー性疾患治療剤	協和醗酵
セロクエル錠(フマル酸クエチアピン)	25mg, 100mg／錠	抗精神病剤	藤沢
バルネチール細粒(塩酸スルトプリド)	500mg／g	ベンザミド系抗精神病剤	大日本
ベプリコール錠(塩酸ベプリジル)	100mg／錠	不整脈・狭心症治療剤	三共
ルーラン錠(塩酸ペロスピロン水和物)	4mg, 8mg／錠	抗精神病剤	住友
インターエアロゾルA (クロモグリク酸ナトリウム)	200mg／10mL／瓶	喘息治療剤	藤沢
ミロル点眼液(塩酸レボブノロール)	〔0.5%〕 5mL／本	緑内障・高眼圧症治療剤	藤沢

院内処方医薬品について

* ザフィルルカスト Zafirlukast

【商】アコレート Accolate アストラゼネカ

内用：錠剤 1錠中 40mg

【禁】本剤の成分に対し過敏症の既往歴のある患者，本剤による肝障害の既往のある患者

【効】気管支喘息

【用】1日 40～80mg を朝食後及び就寝前の2回に分割投与する。高齢者の1日投与量は40mgとする。成人（高齢者を除く）の1日最高量は80mgとする。

【副】肝障害，無顆粒球症，心悸亢進，血圧上昇，不整脈，発疹，掻痒，蕁麻疹，血管浮腫，貧血，白血球減少，白血球増多，好酸球増多，リンパ球増多，出血斑，出血異常，AST・ALT・Al-P 上昇，高ビリルビン血症，尿潜血，蛋白尿，尿糖，クレアチニン上昇，嘔気，腹痛，下痢，消化不良，食欲不振，食欲亢進，便秘，口渇，腹部膨満，嘔吐，口内炎，頭痛，知覚減退，めまい，振戦，傾眠，不眠，緊張亢進，神経過敏，気道感染，月経困難，不正出血，性器出血，膣カンジダ症，月経過多，倦怠感，体重増加，トリグリセライド上昇，コレステロール上昇，浮腫，顔面浮腫，味覚異常，血糖値上昇，胸痛，CK 上昇，耳鳴，血清 K 低下，関節痛，筋肉痛

【妊】未確立，有益のみ

【授】回避，やむを得ない場合は授乳中止

【未・新・乳・幼・小】未確立

* 塩酸セチリジン Cetirizine Hydrochloride

【商】ジルテック Zyrtec 住友

内用：錠剤 1錠中 10mg

【禁】本剤の成分又はヒドロキシジンに対し過敏症の既往歴のある患者

【効】アレルギー性鼻炎，蕁麻疹，湿疹・皮膚炎，痒疹，皮膚掻痒症

【用】1日 1回 10mg を就寝前に投与する。最高投与量は1日 20mg とする。

【副】ショック，痙攣，肝機能障害，黄疸，眠気，倦怠感，頭痛，しびれ感，頭重感，めまい，ふらふら感，口渇，口唇乾燥感，嘔気，食欲不振，胃不快感，消化不良，腹痛，胃痛，腹部不快感，嘔吐，下痢，口唇炎，口内のあれ，味覚

異常，便秘，動悸，頻脈，不整脈，血圧上昇，白血球減少，好中球減少，リンパ球増多，好酸球増多，単球増多，血小板増加，血小板減少，浮腫，発疹，掻痒感，かぶれ，血管浮腫，霧視，結膜充血，AST・ALT・総ビリルビン・Al-P 上昇，BUN 上昇，尿蛋白，尿糖，尿潜血，ウロビリノーゲンの異常，頻尿，排尿困難，胸痛，息苦しさ，ほてり，月経不順，耳鳴

【妊】未確立，有益のみ 【授】授乳回避

【未・新・乳・幼・小】未確立

* タクロリムス水和物 Tacrolimus Hydrate

【商】プログラフ Prograf 藤沢

内用：カプセル剤（劇） 1個中 0.5mg

【警】1．臓器移植における本剤の投与は，免疫抑制療法及び移植患者の管理に精通している医師又はその指導のもとで行うこと。2．顆粒とカプセルの生物学的同等性は検証されていないので，切り換え及び併用に際しては，血中濃度を測定することにより製剤による吸収の変動がないことを確認すること。

【禁】本剤の成分に対し過敏症の既往歴のある患者，シクロスポリン投与中の患者，カリウム保持性利尿剤投与中の患者，妊婦又は妊娠している可能性のある婦人

【効】肝移植における拒絶反応の抑制，骨髄移植における拒絶反応及び移植片対宿主病の抑制，腎移植における拒絶反応の抑制，全身型重症筋無力症（胸腺摘出後の治療において，ステロイド剤の投与が効果不十分，又は副作用により困難な場合）

【用】○肝移植：初期には1回 0.15mg/kg を1日2回投与する。以後，徐々に減量し，維持量は1日 0.10mg/kg を標準とする。○骨髄移植：移植1日前より1回 0.06mg/kg を1日2回投与する。移植初期には1回 0.06mg/kg を1日2回投与し，以後，徐々に減量する。移植片対宿主病発現後に本剤の投与を開始する場合には，1回 0.15mg/kg を1日2回投与する。○腎移植：移植2日前より1回 0.15mg/kg を1日2回投与する。術後初期には1回 0.15mg/kg を1日2回投与し，以後，徐々に減量する。維持量は1回 0.06mg/kg，

1日2回投与を標準とする。○全身型重症筋無力症：1日1回3mgを夕食後に投与する。

【副】急性腎不全，ネフローゼ症候群，心筋障害，心不全，心室性・上室性不整脈，狭心症，心膜液貯留，全身痙攣，意識障害，錯乱，言語障害，皮質盲，片麻痺，脳梗塞，脳出血，溶血性尿毒症症候群，血栓性血小板減少性紫斑病，汎血球減少症，血小板減少性紫斑病，イレウス，Stevens-Johnson 症候群，呼吸困難，急性呼吸窮迫症候群，細菌性・ウイルス性・真菌性・原虫性感染症の発現又は増悪，Epstein-Barr ウィルス関連リンパ増殖性疾患あるいはリンパ腫，BUN・クレアチニン上昇，クレアチニンクリアランス低下，尿蛋白，尿量減少，多尿，頻尿，残尿感，高血糖，尿糖，高カリウム血症，高尿酸血症，高トリグリセライド血症，アシドーシス，高コレステロール血症，高リン酸塩血症，低リン酸血症，高クロール血症，高カルシウム血症，低カルシウム血症，低マグネシウム血症，低蛋白血症，低ナトリウム血症，低カリウム血症，血圧上昇，浮腫，血圧低下，徐脈，頻脈，動悸，心電図異常，振戦，頭痛，眼振，外転神経麻痺，めまい，四肢硬直，運動失調，しびれ，感覚異常，不眠，傾眠，意識混濁，失見当識，うつ病，譫妄，興奮，幻覚，悪心，嘔吐，腹部膨満感，腸管運動障害，食欲不振，下痢，腹痛，胃潰瘍，下血，大腸炎，膵炎，アミラーゼ上昇，黄疸，AST・ALT・Al-P・LDH・ γ -GTP 上昇，貧血，血小板増多，血小板減少，白血球増多，白血球減少，リンパ球減少，発疹，紅斑，痒疹，脱毛，ほてり，胸水，腹水，喘息，咽喉頭違和感，発熱，発赤，全身倦怠感，筋肉痛，関節痛，眼痛，多汗，体重減少，味覚異常，月経過多

【妊】不可 【授】授乳回避

【未・新・乳・幼】〔骨髄移植・腎移植〕未確立 【小】〔全身型重症筋無力症〕未確立

* ヒアルロン酸ナトリウム Sodium Hyaluronate

【商】スベニールディスポ Suvenyl Dispo 中外注射：液剤 1筒（2.5mL）中25mg

【禁】本剤の成分に対し過敏症の既往歴のある患者

【効】○変形性膝関節症，肩関節周囲炎 ○慢性関節リウマチにおける膝関節痛（下記の基準を全て満たす場合に限る）：抗リウマチ薬等に

よる治療で全身の病勢がコントロールできていても膝関節痛のある場合，全身の炎症症状がCRP 値として10mg/dL 以下の場合，膝関節の症状が軽症から中等症の場合，膝関節のLarsen X線分類がGrade からGrade の場合

【用】○変形性膝関節症：1回2.5mLを1週間毎に連続5回膝関節腔内に投与する。その後，症状の維持を目的とする場合は，2～4週間隔で投与する。○肩関節周囲炎：1回2.5mLを1週間毎に連続5回肩関節（肩関節腔，肩峰下滑液包又は上腕二頭筋長頭腱腱鞘）内に投与する。○慢性関節リウマチにおける膝関節痛：1回2.5mLを1週間毎に連続5回膝関節腔内に投与する。

【副】発熱，発疹，痒疹感，AST・ALT・Al-P・LDH 上昇，好酸球増多，ヘマトクリット低下，白血球増多，疼痛，熱感，腫脹，関節周囲しびれ感，関節液貯留，倦怠感，蛋白尿，尿沈渣異常，動悸，ほてり，総蛋白低下，BUN 上昇

【妊】未確立，有益のみ

【授】回避，やむを得ない場合は授乳回避

【小】未確立

【貯】15 以下

* コハク酸シベンゾリン Cibenzoline Succinate

【商】シベノール Cibenol 藤沢

注射：液剤（劇） 1管（5mL）中70mg

【禁】高度の房室ブロック・高度の洞房ブロックのある患者，うつ血性心不全のある患者，透析中の患者，緑内障・尿貯留傾向のある患者

【効】頻脈性不整脈

【用】1回1.4mg/kgを必要に応じて生理食塩液又はブドウ糖液にて希釈し，血圧及び心電図監視下2～5分間かけて静注する。

【副】心室頻拍（Torsades de pointes を含む），心室細動，上室性不整脈，ショック，心不全，心原性ショック，重篤な肝障害，PQ 延長，QRS 幅延長，QTc 延長，房室ブロック，脚ブロック，徐脈，血圧低下，動悸，低血糖，AST・ALT 上昇，白血球減少，血小板減少，尿閉，排尿困難，BUN・クレアチニン上昇，霧視，口渇，悪心，腹痛，頭痛，めまい，発汗，しびれ，ほてり，下肢冷感，血管痛，胸痛

【妊】未確立，有益のみ

【授】回避，やむを得ない場合は授乳回避

【小】未確立

＊塩酸イソクスプリン Isoxsuprine Hydrochloride

【商】ズファジラン Duvadilan 第一

注射：液剤（劇） 1 管（1mL）中 5mg

【禁】脳出血の患者，分娩直後の患者，胎盤の早期剥離患者

【効】○下記に伴う随伴症状：頭部外傷後遺症

○下記に伴う末梢循環障害：ピュルガー病，閉塞性動脈硬化症，血栓性静脈炎，静脈血栓症，レイノー病及びレイノー症候群，凍瘡・凍傷，特発性脱疽，糖尿病による末梢血管障害 ○子宮収縮の抑制（切迫流・早産，過強陣痛）

○月経困難症

【用】○循環器領域の適応の重症・急性の場合：1 回 5～10mg を 1 日 2～3 回筋注する。○子宮収縮の抑制：1 回 5～10mg を 1～2 時間毎に筋注する。○月経困難症の重症の場合：1 回 5～10mg を筋注する。

【副】悪心・嘔吐，心悸亢進，血圧低下，顔面潮紅，めまい，眠気，発疹，月経過多

【妊】12 週未満：未確立，不可

＊ガンシクロビル Ganciclovir

【商】デノシン Denosine 田辺

注射：（毒） 1 瓶中 500mg

【警】1）本剤の投与により汎血球減少，顆粒球減少，貧血，血小板減少等の骨髓抑制があらわれるので，頻回に血液学的検査を行うなど，患者の状態を十分に観察すること。2）動物実験の結果から，通常用量で不可逆的な精子形成機能障害を起こすことが，また，婦人の妊孕性低下が示唆されている。3）本剤は動物実験で，催奇形性，変異原性並びに発癌性のあることが報告されている。

【禁】好中球数 $500/\text{mm}^3$ 未満又は血小板数 $25,000/\text{mm}^3$ 未満の患者，ガンシクロビル又は類似化合物（アシクロビル等）に対する過敏症の既往歴のある患者，妊婦又は妊娠している可能性のある婦人

【効】下記における重篤なサイトメガロウイルス感染症：後天性免疫不全症候群，臓器移植，悪性腫瘍

【用】初期投与は，1 回 5mg/kg を 1 日 2 回，12 時間毎に 1 時間以上かけて，14 日間点滴静注する。維持投与は，後天性免疫不全症候群の患者又は免疫抑制剤投与中の患者で，再発の可能性

が高い場合は必要に応じ維持投与に移行することとし，1 日 6mg/kg を週に 5 日又は 1 日 5mg を週に 7 日，1 時間以上かけて点滴静注する。維持投与中又は投与終了後，サイトメガロウイルス感染症の再発が認められる患者においては必要に応じて再投与として初期投与の用法・用量にて投与をすることができる。腎機能障害のある患者に対しては，腎機能障害の程度に応じて適宜減量する。

【副】汎血球減少，白血球減少，血小板減少，腎不全，肺炎，深在性血栓性静脈炎，昏睡，錯乱，痙攣・発作，敗血症，消化管出血，貧血，低色素性貧血，脾腫，好酸球増多，無力症，浮腫，疼痛，倦怠感，悪寒，胸痛，腹部腫脹，発熱，不整脈，高血圧，低血圧，血管拡張，呼吸困難，咳の増加，発疹，瘙痒，下痢，悪心，嘔吐，腹痛，食欲不振，鼓腸放屁，消化不良，口渴，おくび，便秘，アフタ性口内炎，胃腸障害，便失禁，食道炎，胃炎，潰瘍性口内炎，嚥下障害，頭痛，不眠症，眩暈，神経障害，異夢，傾眠，思考異常，健忘症，緊張亢進，歩行異常，異常感覚，不安，多幸症，偏頭痛，情緒不安，運動過多，振戦，激越，性欲減退，ミオクロヌス，運動失調，躁病反応，神経質，精神病，脱毛，皮膚乾燥，斑状丘疹，瘡瘍，発汗，クレアチニン・クレアランス低下，クレアチニン・BUN 上昇，腎機能異常，頻尿，尿路感染，血尿，黄疸，肝炎，Al-P・ALT・LDH 上昇，肝臓機能検査値異常，関節痛，両下肢痙直，筋肉痛，筋無力症，背痛，骨痛，CK 上昇，味覚倒錯，視覚障害，硝子体混濁，眼痛，耳痛，耳鳴，失明，結膜炎，難聴，網膜剥離，網膜炎，霧視，体重減少，感染，インポテンス，高血糖，低血糖，乳房痛，低カリウム血症，蜂巣炎，静脈投与による投与部位の静脈炎・痛み

【妊】不可 【授】未確立，授乳中止

【小】未確立，慎重，有益のみ

＊デカン酸ハロペリドール

Haloperidol Decanoate

【商】ハロマンズ Halomonth 大日本

注射：液剤（劇） 1 管（1mL）中 100mg

【禁】昏睡状態の患者，バルビツール酸誘導体等の中枢神経抑制剤の強い影響下にある患者，重症の心不全患者，パーキンソン病の患者，本

剤の成分またはブチロフェノン系化合物に対し過敏症の患者，エピネフリンを投与中の患者，妊婦または妊娠している可能性のある婦人，テルフェナジンまたはアステミゾールを投与中の患者

【効】精神分裂病

【用】1 回 50～150mg を 4 週間隔で筋注する。
初回用量は，経口ハロペリドールの 1 日用量の 10～15 倍を目安とし，可能な限り少量より始め，100mg を超えないものとする。

【副】悪性症候群，麻痺性イレウス，遅発性ジスキネジア，心室頻拍，SIADH，無顆粒球症，横紋筋融解症，心電図異常，動悸，頻脈，徐脈，血圧降下，血圧上昇，胸内苦悶感，AST・ALT・ γ -GTP・Al-P・LDH・ビリルビン上昇，パーキンソン症候群，アカシジア，ジスキネジア，ジストニア，視調節障害，発疹，白血球・顆粒球増加，白血球減少，貧血，血沈亢進，食欲不振，口渇，悪心・嘔吐，胃不快感，便秘，下痢，腹痛，食欲亢進，腹部膨満感，体重増加，体重減少，月経異常，乳汁分泌，インポテンス，喉頭攣縮，呼吸困難，不安・焦躁感，興奮・易刺激性，頭痛・頭重，睡眠障害，眠気，抑うつ，脳波異常，緊張，離人感，意識障害，注射局所の発赤・腫脹・疼痛・硬結，脱力感・倦怠感，めまい・ふらつき・立ちくらみ，発汗，発熱，鼻閉，排尿障害，のぼせ，浮腫，CK 上昇，高脂血症，BUN 上昇，尿糖陽性化

【妊】不可 【授】授乳中止

【小】未確立

【貯】遮光

院外処方医薬品について

平成 13 年 6 月 16 日新規登録薬品

医薬品名(成分名)	規格・単位	薬品分類	会社名
ジプレキサ錠(オランザピン)	5mg, 10mg/錠	抗精神病剤	イーライリリー
バイアスピリン錠(アスピリン)	100mg/錠	抗血小板剤	バイエル
ラクティオンパップ(インドメタシン)	70mg/枚	経皮吸収型鎮痛・消炎温感貼付剤	三笠

* オランザピン Olanzapine

【商】ジプレキサ Zyprexa イーライリリー

内用：錠剤（劇） 1 錠中 5mg, 10mg

【禁】昏睡状態の患者，バルビツール酸誘導体等の中枢神経抑制剤の強い影響下にある患者，本剤の成分に対し過敏症の既往歴のある患者，エピネフリンを投与中の患者

【効】精神分裂病

【用】1 日 1 回 5～10mg 投与により開始する。維持量として 1 日 1 回 10mg 投与する。1 日量は 20mg を超えないこと。

【副】悪性症候群，遅発性ジスキネジア，高血糖，不眠，傾眠，頭痛・頭重，めまい・ふらつき，抑うつ状態，性欲亢進，幻聴，立ちくらみ，痙攣発作，構音障害，意識喪失，脱抑制，違和感，感覚鈍麻，記憶障害，自殺企図，空笑，躁状態，知覚過敏，手指しびれ感，独語，もうろう状態，被害妄想，不安，焦燥，興奮，易刺激性，アカシジア，振戦，筋強剛，流涎，ジストニア，ジスキネジア，ブラジキネジア，歩行異常，嚥下障害，眼球挙上，運動減少，下肢不安症，からだのこわばり，舌の運動障害，血圧低下，血圧上昇，動悸，頻脈，起立性低血圧，徐脈，心室性期外収縮，心房細動，便秘，口渇，食欲亢進，食欲不振，嘔気，胃不快感，嘔吐，下痢，腹痛，胃潰瘍，口角炎，黒色便，痔出血，軟便，好酸球増多，白血球減少，白血球増多，ヘモグロビン減少，ヘマトクリット値減少，貧血，赤血球減少・増多，好中球減少・増多，リンパ球減少，単球増多・減少，血小板減少・増多，好酸球減少，プロラクチン上昇，月経異常，プロラクチン低下，乳汁分泌，乳房肥大，甲状腺機能亢進症，AST・ALT・γ-GTP 上昇，Al-P・LDH 上昇，ウロビリノーゲン陽性，総ビリルビ

ン上昇・低下，肝炎，蛋白尿，腎盂炎，尿沈渣異常，BUN 上昇・低下，クレアチニン低下，排尿障害，頻尿，発疹，小丘疹，トリグリセリド上昇，総蛋白低下，コレステロール上昇，ナトリウム低下，クロール低下，カリウム上昇，尿糖，高脂血症，糖尿病，水中毒，高カリウム血症，脱水症，低カリウム血症，低ナトリウム血症，カリウム低下，ナトリウム上昇，クロール上昇，トリグリセリド低下，鼻閉，光線過敏症，体重増加，倦怠感，CK 上昇，脱力感，発熱，体重減少，発汗，浮腫，アルブミン低下，グロブリン上昇，A/G 比異常，霧視感，眼のチカチカ，肩こり，骨折，腰痛，胸痛，死亡，低体温，ほてり，末梢性浮腫，随時血糖値 160～200mg/dL，随時血糖値 200mg/dL 以上，糖尿病性昏睡，糖尿病性ケトアシドーシス，高血糖，持続勃起

【妊】未確立，有益のみ 【授】授乳中止

【小】未確立

* アスピリン Aspirin

【商】バイアスピリン Bayaspirin バイエル

内用：錠剤 1 錠中 100mg

【禁】本剤の成分又はサリチル酸系製剤に対し過敏症の既往歴のある患者，消化性潰瘍のある患者，出血傾向のある患者，重篤な血液の異常のある患者，アスピリン喘息（非ステロイド性消炎鎮痛剤等による喘息発作の誘発）又はその既往歴のある患者，出産予定日 12 週以内の妊婦

【効】○下記疾患における血栓・塞栓形成の抑制：狭心症（慢性安定狭心症，不安定狭心症），心筋梗塞，虚血性脳血管障害（TIA，脳梗塞）○冠動脈バイパス術（CABG）あるいは経皮経管冠動脈形成術（PTCA）施行後における血栓・塞栓形成の抑制

【用】1 日 1 回 100mg を投与する。症状により 1 回 300mg まで増量できる。

【副】ショック，アナフィラキシー様症状，出血，Stevens-Johnson 症候群，Lyell 症候群，剥脱性皮膚炎，再生不良性貧血，喘息発作，胃腸障害，嘔吐，腹痛，胸やけ，便秘，下痢，消化性潰瘍，食道炎，口唇腫脹，吐血，吐き気，悪心，食欲不振，胃部不快感，蕁麻疹，発疹，浮腫，貧血，白血球減少，血小板減少，血小板機能低下，痒疹，皮疹，膨疹，発汗，めまい，興奮，頭痛，AST・ALT 上昇，肝障害，腎障害，血圧低下，血管炎，心窩部痛，気管支炎，鼻出血，鼻炎，角膜炎，結膜炎，耳鳴，難聴，過呼吸，代謝性アシドーシス，倦怠感，低血糖

【妊】有益のみ，12 週以内：不可

【授】授乳回避

【未・新・乳・幼・小】未確立　〔15 歳未満の水痘・インフルエンザ患者〕やむを得ない場合は慎重

* インドメタシン Indometacin

【商】ラクティオン Laction 三笠

外用：パップ剤

1 枚（10×14cm：膏体 14g）中 70mg

【禁】本剤又は他のインドメタシン製剤に対して過敏症の既往歴のある患者，アスピリン喘息（非ステロイド性消炎鎮痛剤等による喘息発作の誘発）又はその既往歴のある患者

【効】下記疾患並びに症状の鎮痛・消炎：変形性関節症，肩関節周囲炎，腱・腱鞘炎，腱周囲炎，上腕骨上顆炎（テニス肘等），筋肉痛，外傷後の腫脹・疼痛

【用】1 日 2 回患部に貼付する。

【副】発赤，痒疹，発疹，かぶれ，ヒリヒリ感，腫脹

【妊】未確立，有益のみ

【小】未確立

【貯】遮光